単元	I 存	I 体つくり運動 I (体ほぐし・いろいろな動き) 4月(4時間)				
目標	きまり)を守って友達と仲よくしながら,多様な動きの	ポイントを見付けて,用具を操作する運動や体のバランスをとん	る運動ができる。		
評価規準						
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」		
つかむ	_	○試しの用具を操作する運動や体のバランスをとる運動を行い、共通のめあてを立てる。 一共通のめあて いろいろな動きに挑戦したり、用具を操作したり、バランスをとったりすることができるようになろう	○体つくり運動の中で取り組んでいく動きや学び方の見通しをもてるよう,「体つくり運動の楽しさ」「できるようになりたいこと」「学び方」の視点を提示する。			
追究する	1	○フラフープ回しやフラフープジグザク走などの用具を操作する運動やケンケンずもうなど体のバランスをとる運動に挑戦する。	○互いの動きを見合えるように,ペアや兄弟グループを編成 する。	◇友だちの用具を操作するよい動きや体のバランスをとる動きを見付け、伝えたり、記述したりしている。 <学習プリント②>		
ବ	_	○ジャンケンすごろくやまねっこランニング などの体を移動する運動や押しずもうなど の力試しの運動に挑戦する。	○それぞれの運動の行い方を知り、動きのポイントを捉えられるように、力の加え方、バランスのとり方などのコツを 全体で共有する。			
まとめる	I	○発表会を行い,できるようになった動きに取り組み,学習のまとめをする。	○これまでの学習の成果を感じられるよう,「できるようになったこと」「自分や友達のがんばっていたこと」「体つくり運動の楽しさ」という振り返りの視点を提示する。			

【備考】

- ・集団行動については、各単位時間に位置付け、定着できるようにする。 ・グループ編制については、力量や体格(体重)が同じくらいの子どもで組むようにする。
- ・準備体操については体育部で全学年共通のものを提示する。
- ・フラフープジグザグ走はフラフープを転がし、動いているフープの中を交互にくぐり抜け、何回できるか競う。
- ・すもうは片足、両足、ラインの上で、用具で引いたり押したりするなど様々なルールで取り組むようにする。

目標	きまりを守って仲よくし,走り方やバトンパスの仕方を工夫しながら,調子よく走ったり,タイミングよくバトンパスをしたりして,かけっこ・リレーができる。					
評価 規準	(2)		ミングよくバトンを受け渡す行い方を理解し,かけっこ・リレーデスタートのポイントやスピードを落とさないバトンパスのポイン 中よくかけっこ・リレーをしようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」		
つかむ	I	○試しの75mの個々のタイムや全員リレーのタイムの計測をし、共通のめあてを立てる。 共通のめあて 記録会へ向けて、走り方やバトンパスの スタートポイントを見付けて、かけっこ・ リレーをしよう	タイムの計測をし、共通のめあてを立て。 通のめあて			
追究する	2	活動① ○走り方やバトンパスの仕方のポイントを踏まえた。 トを見付け、試行する。 に挑戦する。	「腕の振り方」「目線」「脚の挙げ方」の観点を提示する。	 ◇腕を大きく振る,前を向く,足を高く上げるなどの動きのポイントを記述したり,伝えたりしている。 〈学習プリント②> ◇スピードを落とさずにバトンを受け渡す行い方を理解し,リレーができる。 		
	I	○バトンを受け取る ポイントを見付け, きのポイントを踏ま 試行する。 えたリレーに挑戦する。	いうポイントを踏まえたバトンパスができるように,互い	◇脇を締めて手が高い位置でバトンを受け取る行い方を理解し、リレーができる。 <行動①>		
まとめ	I	○記録会で今までのポイントを踏まえたリレーに挑戦し,友達のよい動きや頑張りを認め合い,学習のまとめをする。		◇かけっこ・リレーにおけるできるようになった動きや自分 や友達のがんばりを記述している。 <学習プリント③>		

目標	3 \$	3 鉄棒運動 5月(6時間)					
目標	互いし	互いに励まし合い,動きのポイントを見付けて,課題に合った練習を選んだり,考えたことを伝え合ったりして補助逆上がり,だるま回りができる。					
評価規準							
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」			
つかむ	ı	○試しの鉄棒運動(技調べ)を行い,共通の めあてを立てる。 一共通のめあて 鉄棒発表会に向けて,補助逆上がり,だる ま回りに取り組み,技をできるようにしよう	○鉄棒運動の中で取り組んでいく動きや学び方の見通しをもてるよう,「鉄棒運動の楽しさ」「できるようになりたいこと」「学び方」の視点を提示する。	◇試しの鉄棒運動(技調べ)に取り組んで得た感想を基に、 視点に沿った内容を具体的に記入している。 <学習プリント③>			
追究する	I	○補助逆上がりの動きのポイントを見付ける。	○補助逆上がりの動きのポイントに気付けるように「腰の位置」「踏み切り位置」「振り上げ足の方向」を観点として提示する。	◇補助逆上がりの足を勢いよく振り上げて,腰を鉄棒につけて回るというポイントを記述したり,伝えたりしている。 <学習プリント②>			
'n	I	○自分の課題に合った練習方法で,補助逆上 がりに取り組む。	○補助逆上がりの動きを身に付けられように,踏み切りの位置を視覚化する跳び箱と踏み切り板,振り上げ足の位置を 視覚化する風船棒を用意する。	◇足を振り上げて,腰を鉄棒につけて回る動きの行い方を理解し,補助逆上がりができる。 <行動①>			
	I	○だるま回りの動きのポイントを見付ける。	○だるま回りの動きのポイントに気付けるように膝の曲げ伸ばしを観点として提示する。	◇だるま回りの膝を曲げ伸ばして振るというポイントを記述したり、伝えたりしている。 <学習プリント②>			
	I	○自分の課題に合った練習方法で, だるま回りに取り組む。	○だるま回りの動きを身に付けられるように、膝の曲げ伸ばしを視覚化する回れたかなシートを用意する。	◇膝を曲げ伸ばして振る行い方を理解し、だるま回りをする ことができる。 <行動①>			
まとめる	ı	○「鉄棒発表会」で今までのポイントを踏ま え補助逆上がり、だるま回りに取り組み、 学習のまとめをする。	○これまでの学習の成果を感じられるよう,「できるようになったこと」「自分や友達のがんばっていたこと」「鉄棒運動の楽しさ」という振り返りの視点を提示する。	◇鉄棒運動におけるできるようになった動きや自分や友達のがんばりを記述している。 <学習プリント③>			

備考】

- ・安全確保のために、鉄棒の下にマットを敷いたり、補助の仕方や着地の仕方を説明したりする。
- ・個々の能力に応じたスモールステップの場を設定する。
- ・準備:防災座布団,柔道帯,逆上がり補助器 ・体育館でも実施することが可能である。
- ·基礎感覚運動
- (例) つばめ、ふとんほし、こうもり、ダンゴ虫、ぶたの丸焼き

単元	4 7	4 フロアーボール 6月(8時間)				
評価 規準	評価 (①知 · 技)フロアーボールの行い方を理解し,パスをする方向に体を向けてパスしたり,ボールの方向に体を向けて受けたパスをつないだり,相手コートに返り					
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」		
つかむ	I	○試しのフロアーボールを行い,共通のめあてを立てる。 一共通のめあて フロアーボール大会に向けて,レシーブ やパス,アタックの動きのポイントを見付 けて,友達と協力しながら,フロアーボー ルを楽しもう	○フロアーボールで取り組んでいく動きや学び方の見通しが もてるように,「フロアーボールの楽しさ」「できるように なりたい動き」の視点を提示する。	◇試しのフロアーボールに取り組み、アタックをして相手 コートに返球する、パスをつなげて得点するなど、でき るようになりたいことやフロアーボールの楽しさを記述 している。 <学習プリント③>		
追究す	6	○アタックの動きのポイントを見付けて、ゲームに取り組む。	○アタックの動きのポイントに気付けるように,「足の向き」 「腕の振り」の視点を提示する 。	◇打つ手と反対の足を前に出し、ねらう方向へ足を向ける、腕を大きく速く振って、ボールを打つ動きのポイントを記述している。 <学習プリント②>		
る		○レシーブの動きのポイントを見付けて、ゲームに取り組む。	○レシーブの動きのポイントに気付けるように,「目線」「構 え」の視点を提示する。	◇転がってくるボールの正面に移動して、膝を曲げて、両手でボールを捕る動きのポイントを記述している。 <学習プリント②>		
		○パスの動きのポイントを見付けて、ゲームに取り組む。	○パスの動きのポイントに気付けるように,「体の向き」の 視点を提示する。	◇パスをする方向に体を向けてパスをしている。 <行動①>		
		○パスを受ける動きのポイントを見付けて、 ゲームに取り組む。	○パスを受ける動きのポイントに気付けるように、「味方の体の向き」の視点を提示する。	◇ボール操作者に体を向けている。 <行動①>		
		○アタックが打ちやすい場所のポイントを見付けけて、ゲームに取り組む。	○アタックが打ちやすい場所のポイントに気付けるように, 「相手コートとの距離」の視点を提示する。	◇相手コートに近い位置から相手コートにボールを転がしている。 <行動①>		
		○チームで作戦を選び試行し, ゲームをする。	○簡単な作戦を選ぶことができるように, 3人の位置を示した複数の作戦を提示する。	◇簡単な作戦を選んでいる。 <学習プリント②>		
まとめ	ı	○「3の3フロアーボール大会」を行い、互いの頑張りを認め合って学習のまとめをする。	○学習の成果を実感できるように,「できるようになった動き」「自分や友達の頑張り」「フロアーボールの楽しさ」という振り返りの視点を提示する。	◇フロアーボールにおける自分や友達の動きのよさや頑張り、フロアーボールの楽しさを記述している。 <学習プリント③>		

- 【備 考】 ・ネットは,コーンにすずらんテープを貼って,使用する。 ・ボールは,ハンドボールのボールがよい。

単元	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
目標						
評価規準	(②思・判・表)リス	ぐムの特徴に合った動きをつなけ	キップしたり,弾んで移動したりするなど全身で踊ることができたり,踊りの仕方を工夫したりしている。 「協力しながら,気持ちを合わせてリズムダンスを楽しく踊ろうと			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>		
つかむ	I ○試しのリズムダンスをし、共通のめあてを立てる。 一共通のめあて リズムにのった弾む踊り方を工夫して、 リズムダンスを発表しよう		○リズムダンスの中で取り組んでいく動きや学び方の見通しがもてるよう,「リズムダンスの楽しさ」「できるようになりたいこと」「学び方」の視点を提示する。			
追究する	活動① ○ 2やや徴 のの特徴 のがない。 のも のも のも のも のも のも のも のも のも のも のも のも のも	活動② ○ロックやサンバのリズムを生かした動きを工夫して踊って楽しむ。 「時間目…「速めのロックのリズム」 2時間目…「ゆっくりロックのリズム」 3時間目…「陽気なサンバのリズム」	を観点に、互いの考えを伝え合う場を設定する。 「ロック」のリズムの見本を基に、「ロック」のリズムの動きの特徴を試す場を設定する。「サンバ」のリズムの見本を基に、「サンバ」のリズムの	って踊ることができる。 <行動①>		
	I ○グループです り方を工夫す	音楽を選び,発表会に向けた踊 「る。	○自分たちの踊りの動きを見ることができるように, グループに I 台タブレット P C を用意する。	◇「ロック」「サンバ」のリズムに合った動きを工夫し,友 だちに伝えている。 <行動②>		
まとめ	l ○リズムダンス をする	ス発表会を行い,学習のまとめ	○これまでの学習の成果を感じられるよう,「できるようになったこと」「自分や友達のがんばっていたこと」「リズムダンスの楽しさ」という振り返りの視点を提示する。			

【備 考】音楽の例:ロック…速い(ドラエモン:星野源,コナンのテーマ,やってみよう:Wanima,前前前世:Rad wimps,踊るポンポコリン,マツケンサンバⅡ) R3 ロック…遅い(夢をかねえてドラエモン,アンパンマン) サンバ(風になりたい:THE BOOM,サンバデジャネイロ) 流行で子ども達になじみのある音楽を選択する。

単元	6 3	6 タグラグビー 7月(7時間)					
目標	互い	互いに協力し,動きを習得するための練習やみんなが楽しめるルールや作戦を工夫しながら,攻めや守りをして,タグラグビーができる。					
評価規準	(②思	思・判・表)みんなが乳	終しめるタグラグビーのル	の動きに合わせてパスしたりする。 ールを考えたり,友達と連携した簡単な作戦を立てたりしている タグラグビーをしようとしている。	3 。		
過程	時間	学	習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」		
つかむ	1	○試しのタグラグビーを行い,共通のめあてを立てる。 一共通のめあて 作戦を工夫して,タグラグビーでたくさん動いたり,得点したりして,タグラグビー大会で優勝しよう		○タグラグビーの中で取り組んでいく動きや学び方の見通しがもてるよう,「タグラグビーの楽しさ」「できるようになりたいこと」「学び方」の視点を提示する。	◇試しのタグラグビーに取り組んで得た感想を基に,視点に 沿った内容を具体的に記入している。 <学習プリント③>		
追究する	2	活動① 〇パスのポイントを 見付け, ドリルゲ ームを行う。	活動② 〇パスや走り方のポイ ントを踏まえたタグ ラグビーを行う。	○パスの動きのポイントに気付けるように,「肘」をという 視点を提示する。○パスのポイントを踏まえ,パスを繋ぐことができるよう, 「ボールを投げる位置」という視点を提示する。	◇肘を伸ばして投げるというポイントを記述している。〈学習プリント②>◇動きながら相手の正面へボールを投げて、パスをしてタグラグビーをすることができる。〈行動①>		
	3	○クロスなどの動き のポイントを見付 け, タスクゲーム をする。	○クロスなどを作戦に 使って,タグラグビ ーを行う。	○クロスの動きのポイントに気付けるように、「移動する位置」、「タイミング」をという視点を提示する。○クロスの動きのポイントを踏まえ、サポートの動きができるように、「動く位置」「動く方向」という視点を提示する。	◇味方の動きに合わせて動くというポイントを記述している。 <学習プリント②>◇味方の動きに合わせてクロスして動くことができる。 <行動①>		
まとめ	I		で今までのポイントを踏 ーに挑戦し, 学習のまと	○これまでの学習の成果を感じられるよう,「できるようになったこと」「自分や友達のがんばっていたこと」「タグラグビーの楽しさ」という振り返りの視点を提示する。	◇タグラグビーにおけるできるようになった動きや自分や 友達の頑張りを記述している。 <学習プリント③>		
【備 ・グリ		- 扁制については,力量や	や体格(体重)が同じくら	いの等質のチームを組めるようにする。			

単元	体つくり運動Ⅱ(体ほぐし・いろいろな動き) 9月(4時間)						
目標	きまりを守って友達と仲よくしながら,多様な動き	まりを守って友達と仲よくしながら,多様な動きのポイントを見付けて,体を移動する運動や力試しの運動ができる。					
評価規準							
過程	時間	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」				
つかむ	□ ○試しの体を移動する運動や力試しの運動を行い、共通のめあてを立てる。 □ 共通のめあて いろいろな動きに挑戦し、体を移動する運動や力試しの運動をできるようにしよう	がもてるよう,「体つくり運動の楽しさ」「できるようになりたいこと」「学び方」の視点を提示する。	◇体つくり運動に取り組んで得た感想を基に,視点に沿った内容を具体的に記入している。 <学習プリント③>				
追究する	I ○ケンケンや両足ジャンプ, 手足走り, うるぎ跳びなどの体を移動する運動に挑戦する		◇友だちの移動する動きのよいところを記述している <学習プリント②>				
る	□ ○おんぶジャンケンやおんぶリレー,アザラシリレーなどの力試しの運動に挑戦する。	○力試しの運動の動きのポイントを踏まえた動きができるように、繰り返し挑戦する活動を設定する。	◇友達をおんぶして歩いたり,腕支持で前進する力試しの動きができる。 <行動①>				
まとめる	I ○体つくりカーニバルで今までのポイントを 踏まえた体つくり運動に挑戦し、学習のま とめをする。		◇体つくり運動におけるできるようになった動きや自分や 友達の頑張りを記述している。 <学習プリント③>				

- 【備 考】 ・グループ編制については,力量や体格(体重)が同じくらいの子ども同士で組めるようにする。 ・リレーでは,子ども達から動物の動きのアイデアを募り,取り入れる活動を設定するとよい。

単元	8 運動会めざして 9月(5時間)					
目標	きまりを守ってみんなで仲よく,走り方やバトンゾーンの使い方,遊競技の動き方を工夫して,かけっこ・リレー,遊競技ができる。					
評価規準	①知 ・ 技)運動の行い方を理解し、リレーや遊競技でバトンを渡したりもらったりして調子よく走ったり、タイミングよくバトンパスをしたりすることができる。②思・判・表)バトンをもらうスタートのポイントやスピードを落とさないバトンパスのポイントや、遊競技の動きのポイントを見付けている。(③主体的態度)安全に気を付け、きまりを守って仲よくかけっこ・リレー、遊競技をしようとしている。					
過程	時間	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」			
つかむ	□ ○運動会の学年練習の内容を知り、試しのリレーや遊競技を行い、共通のめあてを立てる。 一共通のめあて 運動会へ向けて、バトンパスや遊競技のポイントを見付けて、リレーや遊競技に挑戦しよう	○運動会で目指していく動きや学び方の見通しがもてるよう,「リレーや遊競技の楽しさ」「できるようになりたいこと」「学び方」の視点を提示する。	◇試しのリレーや遊競技に取り組んで得た感想を基に,視点に沿った内容を具体的に記入している。 <学習プリント③>			
追究する	I ○バトンパスのポイントを踏まえたリレーに 挑戦する。	○ゴーの合図で前を見て走るというポイントを気付けるよう に,目線という視点を基に,互いの考えを伝え合う機会を 設定する。	◇ゴーの合図で前を見て走るというポイントを記述している。			
	I ○遊競技で移動する動きのポイントを見付け, 遊競技に挑戦する。	○遊競技の用具を相手が捕りやすい位置や方向にして渡すというポイントを見付けられるように, 持ち方の観点を基に, 互いの考えを伝え合う機会を設定する。	◇相手が捕りやすい位置や方向にして渡すというポイントを 記述している。 <学習プリント②>			
	Ⅰ ○移動する動きのポイントを踏まえた遊競技 に挑戦する。	○遊競技の用具を操作したり、身に付けて移動したりすることができるように、用具の操作や移動のよくできている児童の手本を基に、動きのポイントを伝え合う機会を設定する。	◇遊競技の行い方を理解し,用具を操作したり,身に付けたりして移動することができる。 <行動①>			
まとめる	Ⅰ ○リハーサルを行い、今までのポイントを踏まえてリレーや遊競技に挑戦し、友達とよい動きや頑張りを認め合い、学習のまとめをする	○これまでの学習の成果を感じられるよう,「できるようになったこと」「自分や友達のがんばっていたこと」「運動会をめぜす楽しさ」という振り返りの視点を提示する。	◇運動会をめざしてできるようになった動きや自分や友達 の頑張りを記述している。 <学習プリント③>			

・準備:バトン,コーンなど

単元	9 ‡	9月(6時間)				
目標	幅跳で	幅跳びに安全に気を付けながら進んで取り組み,「タン・タン・タ・タ・ターン」のリズムで幅跳びをすることができる。				
評価規準	(①知 · 技)幅跳びの行い方を理解し,「タン・タン・タ・タ・ターン」のリズムで助走をしたり,足の裏全体で踏切って跳んだり,両足で着地をしたりをすることができる。 (②思・判・表)「タン・タン・タ・タ・ターン」のリズムで跳ぶ動きや,足の裏を見せて着地する動きのポイントを見付けている。 (③主体的態度)幅跳びに進んで取り組み,幅跳びの行い方やきまりを守ったり,幅跳びの安全な行い方に気を付けようとしたりしている。					
過程	時間	学習活動		指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」	
つかむ	I ○試しの幅跳びを行い,共通のめあてを立てる。 一共通のめあて── 幅跳び大会に向けて,幅跳びのポイントを 見付けて挑戦しよう。			るよう,「幅跳びの楽しさ」「できるようになりたいこと」 「学び方」の視点を提示する。	◇試しの幅跳びに取り組んで得た感想を基に,視点に沿った 内容を具体的に記入している。 <学習プリント③>	
追究する	I	活動① 〇リズムよく跳ぶポイントを 踏まえた幅跳びに挑戦する。	活動② ○幅跳びの記 録に挑戦す る。			
	I	○踏み切りのポイントを踏まえた幅跳びに挑戦する。		○足の裏全体で踏むというポイントを踏まえて踏み切ること ができるように,互いの動きを見合い伝え合う機会を設定 する。		
	I	○着地のポイントを踏まえた 幅跳びに挑戦する。		○両足で着くというポイントを踏まえて着地することができるように,互いの動きを見合い伝え合う機会を設定する。	◇両足で着地することを理解し,着地ができる。<行動①>	
	I	○これまでのポイントを踏ま えた動きで、幅跳びに挑戦 する。		○これまでのポイントを踏まえた動きの課題を解決すること ができるように,助走,踏み切り,着地の各練習方法を選 ぶ機会を設定する。		
まとめる	I	○幅跳び大会で今までのポイン 幅跳びに挑戦し,学習のまと		○これまでの学習の成果を感じられるよう,「できるようになったこと」「自分や友達のがんばっていたこと」「幅跳びの楽しさ」という振り返りの視点を提示する。。		
7 /±±	±z 1	<u> </u>		1		

- 【備 考】 ・踏切板(踏切り),ゴム(踏切り),ケンステップ(着地)等を使うとよい。 ・グループ編制は走が同等になるようにで分け,グループ対抗の記録の伸びで競うとよい。

単元	10	10 面かぶりクロール 9・10月(8時間)					
目標	きまり	きまりを守って友達と仲よくしながら,自分の課題を解決できるように練習を工夫して,面かぶりクロールができる。					
評価規準	(②思	思・判・表)自分の力に	合った課題をもち、肘を	を水面から出してかく動きの行い方を理解し,面かぶりクロール 水面から出してかく面かぶりクロールのポイントを見付け,考え って安全に水泳をしようとしている。	ができる。 たことを伝えている。		
過程	時間	学習	活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」		
つかむ	_	○試しの面かぶりクロールをして共通のめあてを立てる。 一共通のめあて ポイントを見付けて,面かぶりクロール をできるようにしよう		○面かぶりクロールの中で取り組んでいく動きや学び方の見通しがもてるよう,「体つくり運動の楽しさ」「できるようになりたいこと」「学び方」の視点を提示する。			
追究する	6	活動① 〇それぞれの動きの ポイントを見付け て挑戦しよう。	活動② 〇ポイントを踏まえた 面かぶりクロールに 挑戦する。	○動きの行い方を知り,動きのポイントを捉えることができる ように「指先」「肘」「みぞおちが重心」などの観点を提示 する。	◇伏し浮きやけのびをするための動きのポイントを見付け, 伝えている。 <行動②>		
		I・2時間目…伏しき ・けのび 3・4時間目…バタ足		○互いの動きのポイントを見合うことができるように,ペアを 編制する。	◇太ももを動かして上下させる行い方を理解し,バタ足を することができる。 <行動①>		
		5.6時間目…面かぶりクロール		〇よい動きを見付けたり、動きを身につけることができたこと を確認したりすることができるように、動きを振り返る場を 設定する。			
まとめる	ı		『イントを踏まえた面か し,学習のまとめをす	○これまでの学習の成果を感じられるよう,「できるようになったこと」「自分や友達のがんばっていたこと」「水泳運動の楽しさ」という振り返りの視点を提示する。			

- 【備 考】 ・プールでは,他の学級と同時学習が多く,練習場所が限られたりするので,片側通行や前の泳者との間隔など効果的に使用する場の工夫をする。 ・準備:練習ノート,ビート板,ヘルパー,ペットボトル,AED ------

単元	1.1	マット運動					
目標	互いに	互いに励まし合い,動きのポイントを見付けて,前転や後転,腕立て横跳びこし,壁倒立ができる。					
評価規準							
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」			
つかむ	□ ○試しの前転や後転などを行い,共通のめあてる。 一 共通のめあて 発表会に向けて,前転や後転,腕立て横跳 び越しに挑戦して,できるようにしよう		○マット運動の中で取り組んでいく動きや学び方の見通しがもてるよう,「マット運動の楽しさ」「できるようになりたいこと」「学び方」の視点を提示する。	◇試しのマット運動に取り組んで得た感想を基に,視点に沿った内容を具体的に記入している。 <学習プリント③>			
追究する	3	活動① ○前転や後転, 腕立 て横跳びこし, 壁 倒立の基礎感覚運動に挑戦する。	○前転や後転の動きのポイントを見付けられるように、あごや頭という観点を基に、互いの考えを伝え合う機会を設定する。○前転や後転ができるように、その動きができている児童を基に、動きのポイントを伝え合う機会を設定する。	 ◇前転や後転のあごを引いて後頭部を付けて回転するというポイントを記述している。 〈学習プリント②〉 ◇肩、背中、腰をマットに付けて回転することを理解し、前転や後転をすることができる。 <行動①> 			
	2	○腕立て横跳びこし, 壁倒立の動きのポイ ントを見付け挑戦す る。	○腕立て横跳びこし,壁倒立であごを上げるという動きのポイント を見付けられるように,あごという観点を基に,互いの考えを伝 え合う機会を設定する。	◇腕立て横跳びこし、壁倒立の動きに取り組む中で互 いに見た動きを伝え合っている<学習プリント②>			
			○腕立て横跳びこし、壁倒立の蹴り足の練習方法を選ぶことができるように、手形シート、ミラーシート、蹴り足の目安のシートがある練習の場を設定する。	◇自己の課題に合った場で練習方法を選んでいる。 <学習プリント②>			
			○腕立て横とびこし,壁倒立ができるように,その動きができている映像を基に,動きのポイントを伝え合う機会を設定する。	◇腕立て横跳びこし,壁倒立の行い方を理解し,それ ぞれの技ができる。			
	I	〇今までのポイントを踏まえた動きで前転, 後転,腕立て横跳びこし,壁倒立に挑戦す る。	○これまで身に付けたことを生かして、安定した前転、後転、腕立 て横跳びこし、壁倒立ができるように、自分の課題に合った練習 の仕方を選んで挑戦する機会を設定する。	◇安定した行い方を理解し、前転や後転、腕立て横跳 びこし、壁倒立をすることができる。 <行動①>			
ま と め	I	○発表会で今までのポイントを踏まえたマット運動に挑戦し、学習のまとめをする。	○これまでの学習の成果を感じられるよう,「できるようになったこと」「自分や友達のがんばっていたこと」「マット運動の楽しさ」という振り返りの視点を提示する。	◇マット運動におけるできるようになった動きや自分や友達の頑張りを記述している。 <学習プリント③>			

- ・準備:タブレット(教師),ゴムひも,ミラーシート,手形シート,壁に貼る蹴り足の目安のシート・基礎感覚運動:ゆりかご,アンテナ,ブリッジ,うさぎ跳び,かえるの足うちなど ・補助がしやすいよう体格差が少ないグループ編成をする。

単元	12	2 2 ゴールハンドボール					
目標	チームで協力し,動きのポイントを見付けたり,作戦を選んだりしながら,走っている味方にパスをしたり,守りがいない位置に移動してノーマークでシュートをしたりして, 2ゴールハンドボールができる。。						
評価規準	(①知 ・ 技)走っている味方にパスをしたり,守りがいない位置に移動してシュートしたりして,2ゴールハンドボールができる。 (②思・判・表)走っている味方にパスをする動きや守りがいない位置に移動する動きのポイントを見付けたり,作戦を選んだり,チームの課題の解決のために考えたことを友達に伝えたりしている。 (③主体的態度)規則を守り,互いに協力したり,勝敗を受け入れたりして公正に2ゴールハンドボールをしようとしている。						
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」			
つかむ	I	○試しのゲームを行い,共通のめあてを立てる。 一 共通のめあて パスをつないで,シュートしやすい位置に 移動して,ノーマークでシュートする動き を身に付けて,2ゴールハンドボールを楽 しもう	○2ゴールハンドボールの中で取り組んでいく動きや学び方の見通しがもてるように,「できるようになりたい動き」「学び方」「楽しく安全に運動するためにできること」の視点を提示する。	◇前にパスを出す,ノーマークでシュートを打つチームで作戦を立ててシュートをたくさん打てるようになるなど,できるようになりたいことを記述している。			
追究する	ı	〇シュートが決まりやすい場所やシュートの ポイントを見付けて,ゲームに取り組む。	○シュートが決まりやすい場所を見付けられるように,的に向かって,場所を変えながら繰り返しシュートを打つ時間を十分確保する。	◇ゴールの近くをシュートが決まりやすい場所であることを記述している。 <学習プリント②>			
<u> </u>	ı	〇走っている味方にパスをするポイントを見付けて,ゲームに取り組む。	○走ってる味方にパスをする動きのポイントに気付けるように,「パ スを出す位置」という視点を提示する。	◇味方の進行方向に向けてパスを出している。 <行動①>			
	I	○シュートが打ちやすい場所にボールを運ぶ 動きのポイントを見付けて,ゲームに取り 組む。	○ゲーム開始と同時に,前に走り出す動きに気付けるように,パス の回数を制限した3対0のタスクゲームを設定する。	◇パスをした後に、ゴール方向へ走るという動きのポイントを記述している。 <学習プリント②>			
	I	○ボール保持者と自分の間に守りをいれない ようにする動きのポイントを見付けて,ゲ ームに取り組む。	○ボール保持者と自分の間に守りがいて,パスができないという課題意識がもてるように,前時までに撮影したボール保持者,守り,非保持者が一直線になっている動画を提示する。	◇ボールをもらおうと空いているところに動いてい る。 <行動①>			
	ı	○ボールを持ったときの判断が遅いという課 題の解決策を考え,ゲームに取り組む。	○ボールを持ったときに、判断を素早くできるように、味方にパス、振り向いてシュートといったプレイの選択肢を提示する。				
	I	○簡単な作戦を選んで、ゲームに取り組む。	○簡単な作戦を選べるように,動きを視覚化できる作戦ボードを用 意する。	◇簡単な作戦を選んでいる。 <学習プリント②>			
まとめる	ı	○2ゴールハンドボール大会を行う。	○学習の成果を実感できるように,「できるようになった動き」「よかった練習方法やアドバス」「自分や友達の頑張っていたところ」という振り返りの視点を提示する。	◇2ゴールハンドボールにおける自分や友達の動きのよさや頑張りを記述している。<学習プリント③>			
【備	老】						

単元	1 3	13 なわとび・かけ足			
目標	きまり	きまりを守って友達と仲よくしながら,かけ足や短なわとび,長なわとびのポイントを見付けて,かけ足なわとび運動ができる。			
評価規準	(②思	(①知 · 技)なわとびやかけ足の行い方を理解し、時間跳びやあやとび、交差跳び、友達の動きに合わせて連続長なわのなわとび運動、3分間のかけ足ができる。(②思・判・表)運動の行い方を知り、腕を大きく交差するなどの動きのポイントを見付け、自分の動きに取り入れている。(③主体的態度)きまりを守り、互いに励まし合って、用具の安全を確かめながら進んでかけ足やあやとび、連続長なわとびに取り組もうとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
つかむ	I	○試しのかけ足やあやとび、連続長なわ跳を行い、共通のめあてを立てる。 - 共通のめあて 3分間のかけ足やいろいろなとび方に挑し、3分間のかけ足やあやとび、連続長なまできるようにしよう	もてるよう、「なわとび・かけ足の楽しさ」「できるようになりたいこと」「学び方」の視点を提示する。 対		
追究する	7	活動① ○3分間のかけ足のポイントを見付け,挑戦する。 活動② ○あやとびや連続長わとびのポイント見付け,挑戦する。	アや兄弟グループを設定する。	けている。	
まとめる	I	○プレなわとび大会で今までのポイントを まえたあやとびや交差跳び,連続長なわ びに挑戦し,学習のまとめをする。			
F /++	+4.1		<u> </u>		

【備 考】

- ・短なわやかけ足では,リズムやタイミング,ペースの取り方などを2人組で行い,見合い・伝え合いながらする。長なわとびでは,グループで回数の競争を行うようにする。なお,短なわとびは,なわとびカードを参考にしてなわにかかる回数ではなく,1~3分間を目標に挑戦するようにする。
- ・準備:短なわ(個人もち),長なわ,距離標識(スタンドやコーン),なわとびカードなど

単元	14 跳び箱運動			I ・2月(8時間)	
目標	互いに	互いに励まし合い,動きのポイントを見付けて,開脚跳びや台上前転ができる。			
評価規準	(①知 · 技)開脚跳びや台上前転の行い方を理解し,それぞれの技ができる。 (②思・判・表)開脚跳びや台上前転の肩を着いた手より前に出す動きや,強く踏み切って腰を上げる動きのポイントを見付けている。 (③主体的態度)互いに励まし合い,安全に気を付けながら,開脚跳びや台上前転に挑戦しようとしている。				
過程	時間	時間		指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
つかむ	_	○試しの開脚跳びや台上前転を行い,共通の めあてを立てる。 - 共通のめあて - 発表会に向けて,開脚跳びや台上前転に挑 戦して,開脚跳びや台上前転をできるよう にしよう		○跳び箱運動の中で取り組んでいく動きや学び方の見通しがもてるよう,「跳び箱運動の楽しさ」「できるようになりたいこと」「学び方」の視点を提示する。	◇試しの跳び箱運動に取り組んで得た感想を基に,視点に沿った内容を具体的に記入している。 <学習プリント③>
追究する	2	活動① ○開脚跳びや台上前 転の基礎感覚運動 に挑戦する。	活動② ○開脚跳びの動きのポ イントを見付け試行 する。	○開脚跳びの行い方を視覚的に理解できるように、動画資料を用意する。○開脚跳びの動きのポイントを踏まえて、動きを捉えることができるように、「肩」「着手の位置」という視点を提示する。	◇手を着いた後,手より前に肩を出すなどの動きのポイントを記述している。 <学習プリント②> ◇跳び箱に着手し,跳び越すことができる。 <行動①>
	3		〇台上前転の動きのポイントを見付け挑戦 する。	○台上前転の行い方を視覚的に理解できるように,動画資料を用意する。 ○台上前転の動きのポイントを踏まえて,動きを捉えることができ	◇手を着いた後,腰を上げるように回るなどの動きのポイントを記述している。 <学習プリント②> ◇友達の台上前転の動きを見て,腰の位置を伝えてい
				つって前転の動きのホインドを踏まれて、動きを捉えることができるように、「腰の位置」という視点を提示する。	◇ 及尾の日工削転の勤さを見て、
				○台上前転の練習方法が選べるように,エバーマット,マットを巻いて高さを出した場といった教具や場を用意する。	◇自己の課題に合った練習方法を選んでいる。 <学習プリント②>
	I]	○台上前転ができるように,示範映像を基に,「着手の位置」を伝 え合う活動を設定する。	◇台上前転の行い方を理解し,台の上で回ることができる。 <行動①>
		○今までのポイントを踏まえた動きで開脚跳 びや台上前転に挑戦する。		○これまで身に付けたことを生かして,開脚跳びや台上前転ができるように,自分の課題に合った練習の仕方を選んで挑戦する場を 用意する。	◇動きの行い方を理解し,開脚跳びと台上前転をする ことができる。 <行動①>
まとめ	ı	○発表会で今までの元 箱運動に挑戦し,学	ポイントを踏まえた跳び ዸ習のまとめをする。	○これまでの学習の成果を感じられるよう,「できるようになったこと」「自分や友達のがんばっていたこと」「跳び箱運動の楽しさ」という振り返りの視点を提示する。	◇跳び箱運動におけるできるようになった動きや自分や友達の頑張りを記述している。 <学習プリント③>

- 【備 考】 ・準備:練習ノート,タブレット(教師),ゴムひも,ビニールテープ,エバーマット,巻いたマット,手形シートなど ・場の例:跳び箱2台をつなげた場(同じ高さ,高さを変えて段差を付ける),ステージに跳び上がったり跳び下りたりできる場,ロールマットの場など ・基礎感覚運動:うさぎ跳び,かえるの足うち,連続馬跳び,両手をついてのとび出し下りなど ・補助がしやすいよう体格差が少ないグループ編成をする。

単元	5 ならびっこベースボール 2月(8時			2月(8時間)	
目標	互い! らび-	互いに協力し,みんなが楽しめるルールや作戦を工夫しながら,考えたことを友達に伝え合い,空いているところにボールを打って攻撃したり,ボールを捕って守ったりして, らびっこベースボールができる。			
評価規準	①知 ・ 技)空いているところへ打ったり、ボールを捕った後ベースへ向かって動いたりする攻守の行い方を理解し、ならびっこベースボールができる。②思・判・表)みんなが楽しめるルールを考えたり、簡単な作戦を選んだり、考えたことを友達に伝えたりしている。(③主体的態度)規則を守り、互いに協力して公正にゲームをしようとしている。				
過程	時間		· 肾活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
つかむ	I	 I ○試しのゲームを行い,共通のめあてや自分を立てる。 一共通のめあてならびっこベースボールで空いているところにたくさん打ったり,点を取られないように守ったりできるようにしよう 		○ならびっこベースボールの中で取り組んでいく動きや学び 方の見通しがもてるよう,「ならびっこベースボール運動 の楽しさ」「できるようになりたいこと」「学び方」の視点 を提示する。	◇ならびっこベースボールに取り組んで得た感想を基に,視点に沿った内容を具体的に記入している。 <学習プリント③>
追究する	3			○ボールの正面へ移動して捕ることや腰を捻ってバットを振る動きのポイントを見付けることができるように,「バットの握り方」「足の位置」など観点毎に見合う場を設定する。 ○ボールの正面へ移動して捕ることや腰を捻ってバットを振	◇腰を捻って振ることやボールを体の正面で捕球するという 打ち方や捕球のポイントを記述したり,伝えたりしている。 <学習プリント②>
	3			る動きを身に付けることができるように、チーム内で繰り返しドリルゲームに挑戦し、動きのポイントを伝え合う場を設定する。	▽展を扱ってホールを打ったり、ホールを正面で描塚したりでする攻守の行い方を理解し、ならびっこベースボールができる。 <行動①>
		○点を取られない守 りのポイントを見 付け,タスクゲー ムを試行する。		○確実にアウトにするためのポイントを見付けることができるように,「どこへ」「どのように」という観点を基に話し合える場を設定する。	◇ボールを捕球した位置によってアウトにするベースを判断するというポイントを記述したり、伝えたりしている。 <学習プリント②>
		C PA11 > 00	2147	○自分たちで考えた作戦を成功できるように,作戦を繰り返 し挑戦する活動を設定する。	◇確実にアウトにするベースへ移動する守り方を理解し、ならびっこベースボールができる。 <行動①>
まとめる	ı		ボール大会を行い,友達)を認め合い,学習のま	○これまでの学習の成果を感じられるよう,「できるようになったこと」「自分や友達のがんばっていたこと」「ならびっこベースボールの楽しさ」という振り返りの視点を提示する。	◇ならびっこベースボールにおけるできるようになった動き や自分や友達のがんばりを記述している。 <学習プリント③>

【備 考`

- ・チーム編制については,男女混合,グループ間等質の6グループを試しのゲームの様子や個々の運動能力などを基に行う。
- ・ゲームについては、始めと終わりの挨拶をきちんと整列して行うようにする。ファイトコールの仕方を工夫させていく。
- ・準備:ティー (コーンと牛乳パックで作成可),バット,キッズハンドボール,得点板,ビブス

単元	16	I 6 毎日の生活とけんこう 3月(5時間)			
目標	健康σ	健康の大切さに関心をもち,健康によい生活の仕方を理解できる。			
評価規準	(①知 · 技)健康によい生活の仕方を理解している。 (②思・判・表)健康によい生活を自分の生活と関わらせながら考えている。 (③主体的態度)健康の大切さに関心をもち,学習に取り組もうとしている。				
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>	
つかむ	1	○健康な状態について話し合う。	○健康な状態に気付くことができるように, 自分の経験を振り返り気付いたことを話し合う場を設定する。	◇健康な状態について関心をもって話し合っている。 <行動③>	
追究する	I	○健康な生活の仕方や,体や身の回りを清潔 にする方法について話し合う。	○健康な生活の仕方について考えることができるように, I 日の生活の振り返りプリントを用意し, 気付いたことを話 し合う時間を確保する。	◇自分の生活と関わらせながら,健康な生活の仕方について, 記述している。 <学習プリント②>	
<i>(</i> 2)	1	○きれいな空気やちょうどよい明るさを保つ 方法を話し合う。	○教室の明るさについて体験的に捉えることができるように、明るさを測定する器具を用意する。	◇自分の生活と関わらせながら,健康によい環境について, 記述している。 <学習プリント②>	
まとめる	2	○健康に過ごすための生活の仕方の話し合い やまとめのテストを行う。	○健康な生活を送るためにできることに気付けるように,よりよい方法を話し合う活動を設定する。	◇「毎日の生活とけんこう」を学習して理解したことやこれ から実践していきたいことを記述している。 <学習プリント①②③>	

【備 考】 ・照度計は保健室にある。